

記入例：退職所得の受給に関する申告書・退職所得申告書

※太枠内のご記入・ご捺印を必ずお願いします。また、ご記入の際は二枚目の注意事項をご参照ください。

年 月 日		年分		退職所得の受給に関する申告書		
税務署長 殿 市町村長		退職所得申告書				
退職手当等の支払者の	所在地(住所)	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-1-9 南部ビル1階		あ	現住所	〒
	名称(氏名)	日生協企業年金基金		な	氏名	
	法人番号(個人番号)	5 7 0 0 1   5 0 0 0   8 5 1 1		た	個人番号	
				の	その年1月1日現在の住所	〒 現住所と同じ場合は、「同上」とご記入ください。

退職所得の受給について	事業所、金融機関、生命保険会社、 中小企業退職金共済事業本部(中退共)等から退職所得を	受給している	受給していない
-------------	--	--------	---------

このA欄には、すべての人が記載してください。  
(あなたが、前に退職手当等の支払を受けたことがない場合には、下のB以下の各欄には記載する必要がありません。)

A	① 退職手当等の支払を受けることとなった年月日	年 月 日	③ この申告書の提出先から退職手当等についての勤続期間	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年
	② 退職の区分等	一般・障害 ( )	生活扶助の有・無	うち 特定役員等勤続期間	有 自 年 月 日 年
				無 自 年 月 日 年	
			うち 重複勤続期間	有 自 年 月 日 年	無 自 年 月 日 年

あなたが本年中に他にも退職手当等の支払を受けたことがある場合には、このB欄とE欄に記載してください。

B	④ 本年中に支払を受けた退職手当	自 年 月 日	⑤ ③と④の通算勤続期間	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年
	うち 特定役員等勤続期間				

「受け取りを60歳まで繰下げる」場合、記入しないでください。

《一部でも「一時金」が含まれている場合、記入してください。》

C	⑥ 前年12月31日現在に支払われていた退職手当等	年 月 日	年
	⑦ 前年12月31日現在に支払われていた退職手当等	年 月 日	年

AまたはBの退職手当等についての勤続期間のうち、前に支払を受けた退職手当等についての勤続期間の全部または一部が通算されている場合には、その通算された勤続期間等について、このD欄に記載してください。

D	⑧ Aの退職手当等についての勤続期間(③)に通算された前の退職手当等についての勤続期間	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年	⑩ ③又は⑤の勤続期間のうち、⑧又は⑨の勤続期間だけからなる部分の期間	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年
	うち 特定役員等勤続期間	有 自 年 月 日 年	無 自 年 月 日 年	⑪ ⑦と⑩の通算期間	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年
	⑨ Bの退職手当等についての勤続期間(④)に通算された前の退職手当等についての勤続期間	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年	⑫ ⑪のうち	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年
	うち 特定役員等勤続期間	有 自 年 月 日 年	無 自 年 月 日 年	⑬ ⑪と⑫の通算期間	自 年 月 日 年	至 年 月 日 年

BまたはCの退職手当等がある場合には、このE欄にも記載してください。

区分	退職手当等の支払を受けることとなった年月日	収入金額	源泉徴収税額	特別徴収税額		支払を受けた年月日	退職の区分	支払者の所在地(住所)・名称(氏名)
				市町村民税	道府県民税			
Bの退職手当等について	一般	年 月 日	円	円	円	円	一般・障害	
	特定役員	年 月 日	円	円	円	円	一般・障害	
Cの退職手当等について	年 月 日	円	円	円	円	円	一般・障害	